

(十八丁ウゝ十九丁オ)

- ①盲人をミれば、やまひのおこる事あり、用心すべし、
- ②盲人めをひらくと見れば、吉相なり、目うへより引立にあづかるなり、
- ③絵馬をほうのふすると見れば、運つよし、事にのぞんで屈託することなし、
- ④筆に花さくと見れば、家ぎやうさかゆるなり、
- ⑤絵にかける人うごき、あるいハものいふ事ミれば、やまひおこる、又絵をかくとミれば、さうだん事とゝのふべし、
- ⑥三味せんの音かまびすしくきくときは、住所につきてくらうあるべし、
- ⑦さけによひてふすと見れば、凶なり、
- ⑧酒もりするとミれば、家はんじやうのしるしなり、
- ⑨筵の上にてさけをのむとミれば、いへすいびするなり、
- ⑩楼上にて酒をのむと見れば、久しくあわざる人にあふべし、万事さうだんごとよくとゝのふべし、
- ⑪酒をもらふとミれば、遠方よりのたよりあるべし、
- ⑫酒を人におくるとミれば、大事のさいなんあるべし、用心すべし、
- ⑬人を請じて酒をのむと見れば、寿ミやうながき吉相なり、
- ⑭酒によふて人とあらさふと見れば、びやうなんあるべし、
- ⑮唐人にものがたりすると見れば、そんしつあり、
- ⑯梅の花さくと見るときハ、その身にほまれを得る也、
- ⑰うぐひすうめに来りてさへづるとミれば、おもひごとかなふしる

しなり、